

令和5年度 第3回 函南町立図書館協議会 議事録

- | | | | | |
|---|----------|------|----------------------------|-----------------|
| 1 | 日 | 時 | 令和6年2月21日(水) | 午後3時30分～午後4時45分 |
| 2 | 会 | 場 | かなみ知恵の和館 | 2階 研修室 |
| 3 | 出席者 | 会長 | 石田 和久 | 学識経験者 |
| | | 副会長 | 稲葉 優子 | 家庭教育活動者 |
| | | 委員 | 土屋 貴俊 | 学校教育関係者 |
| | | 委員 | 富永 和彦 | 社会教育関係者 |
| | | 委員 | 佐藤 泰博 | 社会教育関係者 |
| | | 委員 | 杉山 恵子 | 学識経験者 |
| | | 委員 | 山崎 海淳 | 学校教育関係者 |
| | | 事務局 | 飯島 美貴 | 生涯学習課課長 |
| | | | 渡邊美奈子 | 函南町立図書館館長 |
| | | | 牧野 満枝 | 生涯学習課(図書館)主事 |
| 4 | 公開・非公開の別 | | 公 開 | |
| 5 | 傍聴人の数 | | 無 | |
| 6 | 内 容 | | | |
| | (1) | 開会 | | |
| | (2) | あいさつ | 飯島生涯学習課長 | |
| | (3) | 協議事項 | (1) 第四次函南町子どもの読書活動推進計画について | |
| | | | (2) その他図書館事業全般について | |

協議事項

(1)第四次函南町子どもの読書活動推進計画について

事務局 第2回図書館協議会でのご意見を取り入れ、修正を加え、年末にパブリックコメントを募集した。9件の意見をいただきましたが、計画案の修正や変更は特になかった。今回はアンケート結果を活かすための取組にするため、再度、委員の皆様にご意見を伺いたい。

各委員から出されたご意見

- 委員 前回の意見を上手く取り入れてくれた。
幼稚園・こども園、保育園とは連携して対応していくことが大切。
小学生の見学については、「生活科」に着目し2年生も対象にしたのは適切である。
- 委員 小学生から高校生が「家で本を読むのはどのぐらいですか」との質問からわかるように、家での読書が減っているアンケート結果を重くみる。
家庭では、親がその気にならないと本を読まないという傾向が見られる。親世代の本離れが進んでいる。
- 委員 電子書籍の動向やニーズについて、引き続き注視してほしい。
- 委員 子どもたちだけで図書館見学に来られるメリットは大きい。
幼稚園児の言うことは、親はよく聞く。
園等でも、保護者宛の掲示板があり、そこは、登園やお迎えに必ず目にするコーナーのため、ブックリストを配架するなどして活用できる。
- 委員 兄弟で競争しながら本を読むのに夢中になる時期もある。最初は娘の方がたくさん読んでいたが、そのうち、連れられて行っていた息子の方が多く読むようになった。
家庭でも、家族を図書館へ誘ってみてきっかけを作れるといい。
- 委員 学校では、親子読書会や親子で本を読む会というイベントをやっている。貸出するのは、学校が保管しているものなどで対応している。読書するきっかけを提供している。
- 委員 孫育てをしている方々にも、絵本を読んでもらって、孫に伝えるルートにしてはどうか。
親や祖父母へのアナウンスも広げていくことが必要である。

事務局 かなみ仏の里美術館で実施した出張図書館では、写真集、花や空の写真など、文字が少ない本の展示もたいへん好評だった。

委員 ブックトークを広げ、ビブリオ・バトルのように中高生が図書館の本をお薦めしたり、発表したりするイベントは興味深い。

(2) その他図書館事業全般について

事務局 前回から現在までの事業報告と今後のイベント等について報告
その他特に意見なし

7 閉会